

直線一氣の豪脚炸裂



第17回チャンピオンズカップ(GI) 優勝馬 サウンドトゥルー

AR

レースへ向けての調教中に脚部不安を発症し、その翌日には年内いっぱいという予定を早めに引退、種牡馬入りすることが発表されたホッコータルマエ。武藏野ステークスをレコード勝ちのタガノトネールも、やはり調教中の骨折で予後不良に。中京に舞台を移して3年目となるダート中距離王決定戦は、直前に有力馬の離脱が相次ぐ事態となっていた。

ただ、中心と目されるアウオーディーには、そんな波乱ムードなど吹き飛ばすほどの勢いがあった。前年秋のダート路線転向後は6戦無敗。重賞5連勝中で、前走のJBCクラシックも完勝しており、堂々の1番人気は当然ともいえる支持。ドバイのUAEダービーを勝った後、アメリカの三冠すべてに挑戦し、ベルモントステークスで3着と健闘したラニは3歳下の弟で、その兄弟対決も注目されていた。

しかしそんなアウオーディーの前に立ちはだかったのが、現役屈指の末脚の持ち主サウンドトゥルーだった。

レースは序盤から厳しい流れとなった。ダッシュよく飛び出したアスカノロマンに外からモンドクラッセが並びかけ、絶対に譲らない気迫で先頭を奪う。古豪コパノリッキーも2番手争いに加わり、ペースを落ちさせない。向正面ではブライトラインが早くも仕掛け、一気に先頭に迫っていった。

直線を向くと、外から追い上げてきたアウオーディーが力強く伸びて、粘る前の馬たちを捉えにかかる。残り100m、ついに先頭に立つアウオーディー。しかし、さらに外からものすごい末脚で追ってきた馬がいた。道中は後方2番手で脚をためていた6番人気のサウンドトゥルーだった。

差してわずかに届かず2、3着という惜敗が多かったサウンドトゥルーは、前年のこのレースでも直線で大外に持ち出すロスが響いて3着。しかし今度は、前が開くのを待ってからスパート。破壊力抜群の末脚をきっちりと届かせ、見事にアウオーディーを差し切ってみせた。

サウンドトゥルーは初のJRA・GI制覇。また大野拓弥騎手、高木登調教師とともに、スノードラゴンで制した2014年スプリンターズステークス以来となるJRA・GI 2勝目をあげた。



▲後方待機のサウンドトゥルー(帽色・黄・右)は、内から差を詰め勝負の直線へ。

### 第17回チャンピオンズカップ(GI)

12/4 中京競馬場 1800m(ダート・左) 暫・良 15頭

着順	馬名	性	齢	斤量	騎手	調教師	タイム	差	人気	通過順位
1	サウンドトゥルー	駆	6	57	大野 拓弥	高木 登	1:50.1	⑥	14[4][4]13	
2	アウオーディー	牡	6	57	武 豊	松永 幹夫	クビ	①	6[6][6]5	
3	アスカノロマン	牡	5	57	和田 竜二	川村 稔彦	1/2	⑩	2[2][3]2	
4	カフジテイク	牡	4	57	津村 明秀	湯窪 幸雄	クビ	⑪	15[5][4]15	
5	アボロケンタッキー	牡	4	57	松若 風馬	山内 研二	1 1/4	⑦	10[10]10 11	
6	ノンコノユメ	駆	4	57	R. ムーア	加藤 征弘	クビ	④	10[11]13 13	
7	モーニング	牡	4	57	戸崎 圭太	石坂 正	3/4	⑤	5[5][7]9	
8	ロワジャルダン	牡	5	57	横山 典弘	戸田 博文	ハナ	⑨	12[12][12]9	
9	ラニ	牡	3	56	内田 博幸	松永 幹夫	ハナ	⑧	12[12]10 12	
10	モンドクラッセ	牡	5	57	丸山 元氣	清水 英克	クビ	⑫	1[1][1]1	
11	マイショウスミトモ	牡	5	57	古川 吉洋	南井 克巳	2 1/2	⑯	8[8]7 5	
12	ゴールドドリーム	牡	3	56	M. デムーロ	平田 修	1 3/4	②	6[6][5]5	
13	コパノリッキー	牡	6	57	C. ルメール	村山 明	1 1/2	③	3[2][3]4	
14	ブライアアイディア	牡	6	57	幸 英明	宮 徹	1/2	⑯	8[8]9 8	
15	ブライトライン	牡	7	57	田辺 裕信	鮫島 一歩	8	⑯	4[4][2]2	

単勝①1,590円 優勝⑥250円 ②130円 ④650円 枠連(2-5)520円

馬連②-⑧1,390円 馬單⑧-⑧24,800円 ワイド②-⑧490円 ④-⑧3,420円 ②-④1,530円

3連複②-④-⑧11,180円 3連単②-⑧-⑧85,980円

ハロンタイム 12.7-10.7-12.9-12.5-11.8-11.8-12.4-12.3-13.0

通過タイム 600m 36.3-800m 48.8-1000m 1:00.6-1200m 1:12.4-1400m 1:24.8-1600m 1:37.1

#### 優勝馬 サウンドトゥルー

2010.5.15生 父フレンチデビュティ 母キョウエイトルース 母の父フジキセキ  
新ひだか・岡田スタッド生産 馬主:山田弘氏



▲サウンドトゥルーは東京大賞典に続き、2つ目のGIタイトルを獲得。